

# 平成23年度（第56期）事業報告

自 平成23年4月 1日  
至 平成24年3月31日

## 1. 会員の異動状況

会員の種類		本期末会員数	前期末会員数	差引増減
名誉会員		10	9	1
正会員		2386	2413	△27
学生会員		124	155	△31
維持会員	S級	2	2	0
	A級	11	12	△1
	B級	6	7	△1
	C級	10	11	△1
	D級	15	15	0
	E級	109	108	1
合計		153	155	△2
公共会員		12	12	0

## 2. 事業の状況

### (1) 行事

行事名	講演件数	参加者数	期日	場所
第2回日中トライボロジー先端フォーラム	25	106	平成23.04.16-18	中国洛陽
トライボロジー会議 2011 春 東京	219	805	平成23.05.23-25	東京
第55期通常総会・特別フォーラム	1	138	平成23.05.24	東京
トライボロジーテーマ別基礎講座	2	43	平成23.06.17	東京
トライボロジー入門講座	8	80	平成23.07.14-15	東京
トライボロジースキルアップ講座	4	24	平成23.10.14	東京
ITC Hiroshima2011	418	650	平成23.10.31-11.3	広島
トライボロジー入門西日本講座	8	60	平成23.10.13-14	京都
トライボロジー先端講座	4	54	平成23.12.7	東京
トライボロジー懇談会	2	58	年3~4回	東京 他

### (2) 会誌

会誌は「トライボロジスト」を12回発行。ページ数本文743ページ(56巻4号～57巻3号)。特集号としては、「鉄道を取り巻くトライボロジー」、「転がり軸受」、「風力発電を支えるトライボロジー」、「自動車を支える摩擦摩耗計測技術」、「レアメタル・レアアースの動向と将来戦略」、「境界潤滑の極限に挑む」、「粉末を利用した表面改質とトライボロジー」、「トライボロジー関連部品の信頼性設計」、「知る人ぞ知る装置・システムとトライボロジー」、「エンジニアリングプラスチック」、「リファレンス オブ リファレンス -2012年版-(1)」を刊行した。

### (3) 研究会

研究会名	種別	回数	場所
トライボロジーロードマップ検討	第1種	5	東京
自動車のトライボロジーによる省資源・省エネルギー予測調査	第1種	5	東京、愛知
添加剤技術	第2種	3	東京
固体潤滑	第2種	5	東京、愛知、広島
グリース	第2種	4	東京
転がり軸受寿命	第2種	1	東京
エンジン潤滑	第3種	3	東京
転がり疲れ	第3種	2	東京
シール	第3種	2	東京、大阪
鉄道のトライボロジー	第3種	1	東京
ファイル記憶のトライボロジー	第3種	2	東京
摩擦耗	第3種	1	茨城
メンテナンス・トライボロジー	第3種	2	愛知、福岡
塑性加工のトライボロジー	第3種	3	東京、神奈川
トライボケミストリー	第3種	2	栃木、山口
自動車のトライボロジー	第3種	4	愛知、京都
アルミニウムのトライボロジー	第3種	2	愛知
高分子材料のトライボロジー	第3種	3	東京、三重
トライボ材料の環境適合性	第3種	1	東京
超を目指す軸受技術	第3種	3	京都
スペーストライボロジー	第3種	1	長野
エコマシニングとトライボロジー	第3種	3	愛知、香川
食品工場用潤滑油	第3種	1	東京
分子シミュレーションのトライボロジーへの応用	第3種	1	愛知
変速機のトライボロジー	第3種	1	東京
合成潤滑剤の化学	第3種	3	東京、茨城
機能性コーティングの最適設計技術	第3種	2	東京、広島
テクスチャリング表面のトライボロジー	第3種	3	東京、愛知、宮城
エロージョンとその応用	第3種	2	愛知、福井
境界潤滑	第3種	1	神奈川
日本海トライボロジー	地区	1	富山
北海道トライボロジー	地区	3	北海道

### (4) 主な取り組み

東日本大震災関連では、罹災者への会費免除を決め、学会として支援を表した。延期したトライボロジー先端講座、トライボロジー懇談会も12月に実施した。

震災後間もない5月23日、トライボロジー会議2011春東京では、参加者総数805名という新記録を達成した。そのほかの入門講座や各種講座でも定員を上回る参加者があった。

ITChiroshima2011も参加者総数650名(海外150名、28カ国)、発表418件だった。なかでも、遠く南アフリカやコロンビアからの参加者があったことは喜ばしいことだった。

トライボロジー相談室を8月に開設、直後から相談があり、これまでに15件の相談があった。

研究会では、第1種研究会「自動車のトライボロジーによる省資源・省エネルギー予測調査研究会」、第3種研究会「境界潤滑」が新たな発足し、活動を開始した。

新法人への移行に関しては、55期第7回理事会で一般社団法人への移行を決議した後、申請手続きを進め、平成24年3月21日、内閣府から認定を受け、4月1日に登記した。

学会の会員管理、ホームページ、および編集校閲作業を刷新する新業務Webシステムの構築に向けた取り組みが進み、4月1日から一部開始の運びとなった。